

『北陸新幹線金沢開業に伴う金沢市内へのアクセスと観光客へのおもいやり』について
Q 1

【田中博人】

おもてなしとは日ごろからの思いやりと気配りの心が伴っているかいないかで決まってくるような気がいたします。それだけに平成 27 年 3 月の北陸新幹線金沢開業に対して関心度が高く注目をしております。

そこで、北陸新幹線金沢開業に伴う金沢市内でのアクセスと観光客への思いやりについてお伺いいたします。

新幹線金沢開業後の入り込み目標は首都圏から 500 万人、三大都市圏で 1,000 万人としているようですが、観光客の大幅増加に伴う利便性の向上について。

まず、金沢市内の観光名所や宿泊施設を巡回するバスは本県ではどのような状況になっているのか。

【蟹由尚観光戦略推進部長】

現在、金沢市内の主要な観光施設をめぐるバスとして、北陸鉄道では城下まち金沢周遊バスと兼六園シャトルの 2 系統を運行している。

城下まち金沢周遊バスは金沢駅、彦三、東山、兼六園下、広坂、新堅町、片町、香林坊、武蔵ヶ辻を運行ルートとし、ひがしの茶屋街、兼六園、そして広坂、長町かいわいなど、金沢市内中心部の観光スポットをループ状にめぐっている。

また、兼六園シャトルは金沢駅を発着点とし、武蔵ヶ辻、香林坊、兼六園下を回り、金沢駅と金沢城、兼六園や市内中心部をダイレクトに結んでいる。

いずれも毎日運行されており、日中は最短で 12 分間隔での運行となっており、観光地はもちろん市内中心部の宿泊施設へのアクセスにもすぐれているものと考えている。